

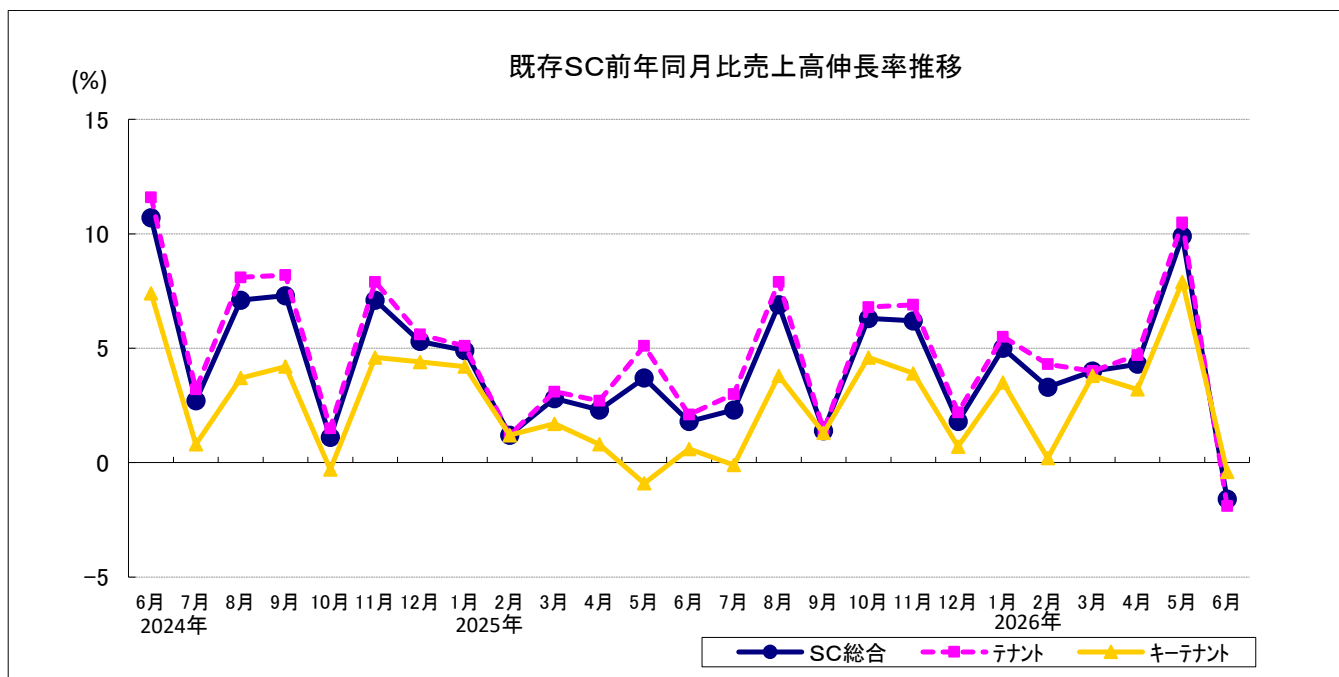
SC販売統計調査報告2026年6月

既存SC前年同月比売上高伸長率 : ▲1.6%

悪天候、低気温により夏物不振、51か月ぶりに前年割れ

< 2026年6月度・全体概況 >

- 6月度の既存SC売上高の前年同月比伸長率は、総合で▲1.6%となった。
- 前年に比べて休日日数が1日少なかったことに加え、台風6～8号が日本付近を通過し悪天候となったことで来館者数が減少した。また、前年に比べて低気温だったことにより夏物商品の販売も振るわず、2022年2月以来51か月ぶりに前年割れとなった。
- 立地別にみると、中心地域は総合で前年同月比伸長率+1.2%、周辺地域は同▲2.8%となった。中心地域は、販促施策が奏功したSCのほか、インバウンドの来館が増えたSC、ラグジュアリーブランドや宝飾品など高額商品を扱うSCが好調だった。周辺地域は、前年に比べて休日日数が1日少なかったことでレジャー需要に対応する広域商圏型SCの集客減などが要因となり、売上げが伸び悩んだ。
- 業種別にみると、「ファッション」は低気温・長雨・台風の影響および前月好稼働した反動により、夏物衣料が苦戦した。セール前の買い控えのほか、プレセールにおいては物価高による節約志向がみられ、まとめ買いが少ないとの声がきかれた。「雑貨」は気温が上がりなかったことでUV対策商品や暑さ対策商品が不振だった。一方、雨天増加によりレイングッズや撥水商品の稼働がみられた。「飲食」は悪天候により利用客が減少した。一方、国内外観光客や館周辺イベント来場者の利用のあったSCでは堅調に推移した。「サービス」は、前年にシネマでのヒット作による集客増があり、本年はその反動による影響がみられた。



以上

この件に関するお問い合わせは 情報・リレーション部: 蒔田・木口
TEL: 03-5615-8524